

営 農 情 報

令和3年6月8日発行

第15号

秋まき小麦の出穂が始まっています！

小麦の赤かび防除について

管内秋まき小麦圃場で出穂が始まっています。平年並みの気候で推移すれば、出穂期から5～7日程度で開花が始まりますので、圃場をよく観察し適期を逃さないように防除を実施しましょう。

○秋まき小麦赤かび病防除体系

回数	薬 剤 名	使用倍率	備 考
1回目 (選択)	リベロ水和剤	2,000倍	開花極始から 5～7日間隔
	シルバキュアフロアブル	2,000倍	
2回目	トップジンM水和剤	1,000～1,500倍	
3回目	シルバキュアフロアブル	2,000倍	
	ベフラン液剤25※	1,000～2,000倍	
臨 機	チルト乳剤25※	1,000～2,000倍	

※リベロ水和剤・シルバキュアフロアブル・チルト乳剤25は同系剤ですので連用は避けましょう。

※葉枯症の発生が懸念される場合（開花期の降水量が多い、過半茂、連作で昨年多発）には、開花始（1回目防除）にバラライカ水和剤（DMI・フタルイミド混合剤）を使用する。（使用倍率500倍）

J A み ね の ぶ 営 農 販 売 課

TEL 0126-67-2334

FAX 0126-67-2803